

難民映画祭パートナーズ

上映会

大村市

難民映画祭
REFUGEE FILM FESTIVAL

PARTNERS

難民キャンプで暮らしてみたら SALAM NEIGHBOR



2人のアメリカ人がシリア難民が暮らす
難民キャンプで日常生活を体験するドキュメンタリー

監督:クリス・テンブル、ザック・イングラシー 配給:ユナイテッドピープル アメリカ/2015年/75分/ドキュメンタリー

LIVING ON DINE and TOOT MEDIA present SALAM NEIGHBOR in association with RYOT FILMS
ORIGINAL SCRIPT BY SNOFFY W.C. WALDEN, A. PATRICK ROSE EDITED BY MOHAMED EL MANASTERLY, JENNIFER THEKERA DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY SEAN KUSANAGI
EXECUTIVE PRODUCERS AUSTIN HEARST, BRYN MOUSER, JEFF KLEIN, JONATHAN DINE, MICHAEL LANG
PRODUCERS MOHAB KHATTAB, SALAM DAHWAZA, CHRIS TEMPLE, ZACH INCASCIERI DIRECTED BY CHRIS TEMPLE, ZACH INCASCIERI



2024年

11月16日 土

13:30 ~ 15:30 (13:00開場)

プラザおおむら

2Fホール 長崎県大村市本町326-1

入場無料 要予約

定員 130名 (先着順)

託児あり ご希望の方はお申し込み
の際にお知らせください

お申し込み・お問い合わせ

大村市国際交流プラザ
☎0957-51-1048

申込フォーム



お電話または上記申込フォームより
イベント名・人数をお知らせください。

主催: 大村市国際交流プラザ
後援: 国連UNHCR協会

上映作品 難民キャンプで暮らしてみたら

2人のアメリカ人青年の制作チームが、シリア難民が暮らすヨルダンのザータリ難民キャンプでの滞在を許可された。キャンプ内のテントで1か月生活し、テントを張ったり配給に並んだりする難民の日常生活を体験。「隣人」たちとの日々の交流から見えてきたのは、トラウマを抱えながらも、自分にできることを見出し、平和を求めて懸命に生きる一人ひとりの姿だった。キャンプの外で暮らす8割の難民たちの生活についても知りたいと、近隣の町で暮らしている母子家庭も訪問。原題にある“Salam”とは、アラビア語で“平和”という意味を含むあいさつの言葉。

監督:クリス・テンブル、ザック・イングラシー
プロデューサー:サラム・ダルワザ、モハブ・カタブクリス・テンブル、ザック・イングラシー
撮影:シーン・クサナギ
編集:モハメッド・エル・マナスターリー、ジェニファー・ティエキシエラ
原題:Salam Neighbor 配給:ユナイテッドピープル
アメリカ/2015年/75分/ドキュメンタリー/日本語・英語字幕